

PowerBuilder 2022 R3 日本語版 リリースセミナー

～ PowerScript 開発に関する新機能 ～

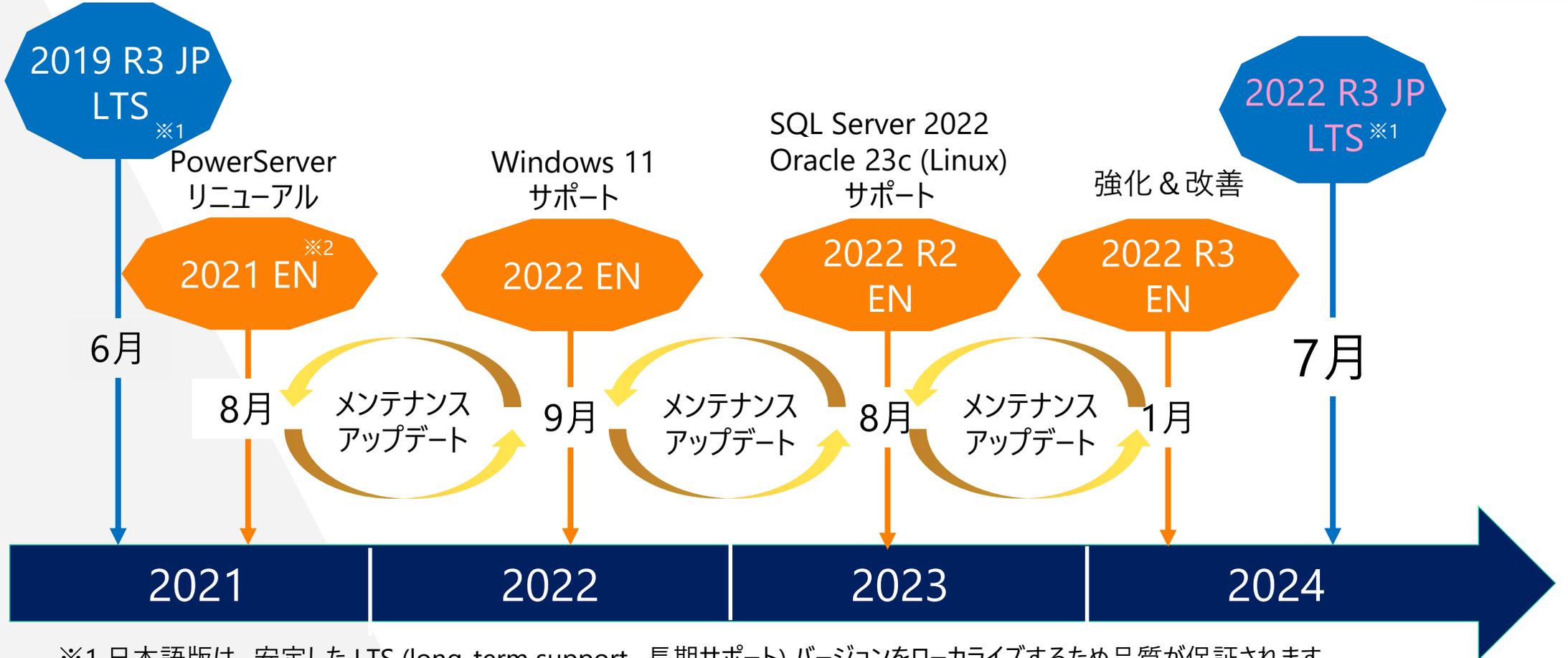


日本コンピュータシステム株式会社

第2事業本部 プラットフォームビジネス事業部
プロダクトサポート部
神岡 孝士



Appeon 製品リリースについて



※1 日本語版は、安定した LTS (long-term support、長期サポート) バージョンをローカライズするため品質が保証されます。

※2 2021 EN バージョン以降は、PowerServer の仕様が大幅に変更されています。また 2021 EN バージョンについては、LTS がスキップされます。



PowerBuilder 2022 R3 新機能

環境

- 最新のシステム要件
 - Windows 11 (IDE および実行環境)、Windows Server 2022 (実行環境のみ)
 - SQL Server 2022 (MSOLEDBSQL 19.3、TLS 1.3 をサポート)
 - Oracle 21c、Oracle 23c (TLS 1.3 をサポート)
 - PostgreSQL 15、PostgreSQL 16
 - Informix 14.x
- **新 PowerServer**
 - 詳細は次のセッションで紹介

データベース

- Oracle の『IDENTITY (ID) 列』をサポート
- SQL Server の『Strict 暗号化』をサポート
- ADO.NET ドライバーのアップグレード



PowerBuilder 2022 R3 新機能

IDE / 開発

- IDEの機能強化
- 64-bit アプリの実行とデバッグ (IDE)
- コマンドラインツールによる配布の強化 (PBAutoBuild)
 - PowerServer プロジェクトのビルド
 - Git ブランチからソースコードをダウンロードしてビルド
 - Git/SVN の設定をエクスポート
- ソース管理の強化
 - 『ライブラリ ペインタ』からソース管理関連の操作をサポート
 - リポジトリへの PBL アップロードが不要
 - 環境 (Windows 資格情報または GitHub サインイン ページ) から Git へのサインインが可能
 - ブランチからのソース取得が容易に
- インストーラーの機能強化
 - インストール時に Web サーバー (IIS) の設定が可能
 - デモアプリの DB に SQL Server の選択が可能
 - インストール権限として管理者権限が不要
- マイグレーションアシスタントの更新と最適化



PowerBuilder 2022 R3 新機能

テクノロジー

- .NET 8 にアップグレード
- Web ブラウザエンジンの変更
- 新規 OpenURL 機能
- .NET アセンブリ呼び出し機能強化
- JSONParser の機能強化
- HTTPClient / RestClient / TokenRequest / OAuthRequest オブジェクトの強化
 - HTTP/2 をサポート
 - TLS 1.3 セキュリティプロトコルをサポート
 - 相互 TLS 認証をサポート
- PBDOM、PBDOM_BUILDERの機能強化





PowerBuilder 2022 R3 新機能

ユーザー向け

- ネイティブな電子メールのサポート (SMTP クライアント)
- PDF ファイルの編集 PDF Builder
- 最新のグラフ
- DDDW および DDLB の機能強化
 - オートコンプリート
 - プロパティの追加
- MDI ウィンドウの TabbedView サポート
- リッチテキストエディット コントロール機能強化
 - PDF の保存をサポート
 - Excel 形式 (.xlsx) ファイルの挿入をサポート
 - リッチテキストで入力フォーム、テーブル、テキストフレームが利用可能
 - リッチテキストコントロールを操作する各種関数の追加
- UI テーマの機能強化
 - より細かいカスタマイズが可能
 - 継承したオブジェクトにもカスタマイズを適用可能
 - テーマの追加

ご清聴ありがとうございました